



新年度に入り、2か月が経過しました。

皆様におかれましては、日頃より

地域連携室「あざれあ」の活動に対し、

ご理解ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

研修会や地域住民対象の集いなどは見合わせていますが、「あざれあ」は医療・介護連携の深化を目指し、地道に活動を続けています。



「がんと向き合い 私らしく生きる」大きな反響

4月に発行したがん患者さん、ご家族の体験冊子は、4月26日に中国新聞に掲載されたことをきっかけに、広島県内のがん患者さんやご家族などから、多数問い合わせがありました。現在約60冊送付しています。冊子を手にした皆さんからは、感謝の声が続々と届いています。

体験を寄せて下さった5人の皆さんの実際の治療や

その後の歩みは、多くの人達に新たな気付きと希望をもたらしたようです。

新型コロナウイルス感染症の影響で「こころの駅舎」は2月から休止状態ですが、臨時の広報紙を作成して郵送しています。参加されている皆さんとの絆は、絶えることはありません。

(冊子に関するお問い合わせ) 東広島地区医師会地域連携室あざれあ TEL ; 082-493-7360



(犬のモデル; 中国新聞 4コマ漫画 栗之助くん)



もうすぐお手元に！「人生会議」(ACP) 地域住民向けリーフレット



東広島地区医師会では、平成26年度からACP(アドバンス・ケア・プランニング)の普及啓発活動を継続しています。平成30年11月30日には「人生会議」というACPの愛称が決定しました。

もしもの時に備えて医療やケア(療養)について前もって「考え」、家族や医師など関係者と繰り返し「話し合い」、「思いを共有する」

「人生会議」を地域に根付かせるために、この度地域の皆さん向けのリーフレットを作成しました。東広島市ではお馴染みの「桃・太郎一家」が今回も登場します。もうすぐ皆様にお配りしますので、「桃・太郎一家」の「人生会議」事始めの巻をどうぞお楽しみに！



「東広島市 資源マップ」調査協力のお願い

例年通り、7月に「東広島市在宅医療・介護・障害福祉資源マップ」の調査を実施します。今年もご協力よろしくお願いたします。

